

令和元年度第63回アンケート「埼玉県の生涯学習及び社会意識について」の結果

質問16 今後の埼玉県の生涯学習に関する取組に対して期待することやご意見、ご要望などありましたら、自由にお書きください。(462件)

1	もっと取り組みたいが・・・高齢で、身体がついて行かず・・・残念です。若い方の積極的な参加を期待します。
2	基本的には、生涯学習は、個人的なものだと思います。自由な発想で伸び伸びと楽しく自分に合ったものを見つけてやるものだと思います。人に誘導されては長く続かないと思います。したがって、行政は、情報の提供及び施設の充実に力を入れるべきだと思います。行政が個人の価値観・世界観にかかわっていかなくてもよいと思います。
3	常にアンケートを実施し、県民の希望を吸い上げ、自主性を尊重して講座内容を増やしてもらいたい。
4	生涯学習と言うと高齢者対象のように思えるが、若い時から生涯学習について興味を持たせる必要があると思いますので、若い人に自分が将来に向かって地域社会で生きがいを持って活動できるような施策を講じていただきたいと思います。
5	当市の学習状況ですが講座の半分近くは各種施設で行われました。現役の方々が行った講座・体験は意義のあるものが多かったが、記念館などの施設の案内人が行ったものはひどかった。「現役の学芸員」の配置が必要と思われる。このような人材の養成とその経費の負担を県全体で考えていただき、「生涯学習が観光資源」につながるよう、各部署が横断的に推進できる体制を望む。
6	「きっかけ」が大事だと思います。個々人のきっかけづくりのための情報提供を多くしていただきたいと思います。歳を重ねるごとに外部からの情報に疎くなってきます。
7	「学習」という言葉で引いてしまう人が少なくないと思う。中小企業で技術を磨くことも学習だと思う。これらの発表の場を経済からではなく、学習の面から見て紹介できる場があってもいいのではないかな。
8	「生涯学習」と言うときつい芸術分野とかもあるので分かりにくいと思います。あと、職業訓練校みたいな仕事に生かせる資格を取れる講座とかは他との兼ね合いでやりにくいのかな？と感じます。
9	「生涯学習」とそれ以外の学習の違いがよくわかりません。学習の場はいろいろと欲しいとは思っていますが、「生涯学習」というものだけそれを欲しいという訳ではありません。
10	「生涯学習」と言っても範囲が広すぎて市民にはよく分からない。要するに活動を意識しようがしまいが、より利口な人間になるための「行動」であるならば、行政は「生涯学習」と堅苦しいことを言わずに、さりげなく機会や場所を提供すればよい。
11	「生涯学習ステーション」のサイトで、11月の予定を見ましたが、さいたま市ばかりで、私の住んでいる市ではひとつも予定がなくて、がっかりしました。さいたま市ばかりでなく、各市でまんべんなく取り組んでほしいと思います。
12	「生涯学習ステーション」の存在を知らなくて残念に思いました。もっと周知をお願いします。
13	活動等の見える課があればよい。PRを多く、広くお願いしたい。
14	社会教育から生涯学習への変遷を考えると解決できるだろうか？柔軟なセンスの若さを求めたい。ここで安藤百福氏の6つのキーワードを活用してはどうかと提案したい。
15	・都市ボランティア2020のように各種イベント(お祭りやパレード)を利用して、大々的にボランティアを募集して、各人の意識向上と高齢者も含めて活用すべきと思います。
16	・方針等は分かるが、具体性に欠けていると思います。分かりにくいです。

17	高齢者に学びなおしの機会が欲しい。たとえば高校の数学の授業を最寄りの学校で受けられる等。小中高で落ちこぼれている生徒がたくさんいるのでは？補修をする制度が欲しい。たとえば小学3年程度の学力しかないのに中学3年の授業を他の生徒と一緒に受けさせているのは本人に失礼では？退職した高齢者を活用できるのでは？規則に縛られない柔軟な発想が必要だ。
18	少子高齢化に対応する、地域コミュニティ充実、防災、就職に関する学習を希望します。農業の後継者不足に対応する、農業の産業・効率化、収益の向上、防災対策に関する学習も希望します。
19	ボランティア活動でごみの運搬を町内で始めた。今後掃除や買い物の手伝い等広げる様に学習をしている。
20	80歳からの生涯学習。盛り沢山あります(要介護の年金生活～免許返還～遺言状の書き方)そんな講座が聴きたい。
21	HPが抽象的すぎてすぐに内容が見られない。
22	SNSなどで情報発信をして欲しい。回覧板での周知が中心だと、時間を持って余している人の暇つぶしにしかない。生涯学習が個人を豊かにし、地域に還ってくる。これを目指していただきたいです。とくに、ボランティア活動が広まると良いと思います。ある市の住民の若い世代は、地域への貢献などに対してとてつもなく無気力に感じる。東京に働きに出ているから、その延長で住まいのある市をとらえているのでは。ふるさとになる、大切な場所だという思いを醸成して欲しい。
23	SNS上であれば同じことを学ぼうとしている人を見つけやすいですが、同時にだまそうとする人も出てくるかと思います。自治体など公共の場で発信の機会が多くなれば、安心して学ぶきっかけづくりもしやすいかもしれません。
24	アクティブシニアの取り組みに近年力を入れている印象があり、高齢者に生涯学習をしてもらうことが最優先かと思います。生涯学習をきっかけに外出したり活動を始めたりすると、多少は経済が回るからです。健康寿命向上にも役立つかもしれません。比較的若い世代は、生涯学習を楽しむ余裕がない、きっかけがない、などの問題があると思うので、働き方改革や税負担の軽減など推し進めつつ、生涯学習にも取り組んでいく、といったところでしょうか。
25	あくまでも自己啓発であって行政が支援する必要はないのでは？
26	あまり情報が見えてこないのもっと情報が見えるようになると思います。
27	アンケートを通じて思うのですが、県民に対して県のホームページへのアクセスを促す宣伝に努めるべきだと思う。折角の職員の努力が空回りしているのではないかと感じます。
28	いきがい大学の経験が貴重な経験でした。
29	いきがい大学の卒業後の仕組みを改善して欲しい。
30	いきがい大学卒業後のあり方については、変革の時期に来ていると感じます。
31	イベントや講座に申し込んでも断られることが多く、落選した人を次の機会に優先的に選んでいただけるような方法をつくってほしい。
32	イベントや体験できる講座や機会をどんどん増やして欲しい
33	イベント情報を用紙ではなかなか手に取らないので、目につくように大きなポスターで提供していただきたいです。
34	いまいち、何がどういう感じであるかがまだ知らないし解らないので、もっと、色々な場面で、知らせてほしいです。

35	いろいろと参加して少しでも社会とかかわりを持ちながら、生活したいと思いますが何しろこの年齢になりますと、どんなに良い会場でも、遠くでは行かれませぬ。近場であれば参加したいのですが、バスで行ける範囲に会場があれば嬉しいです。この辺も警察署の跡地・医療センター跡地も活用されていないし、公的な集まりやすい施設を拡充して欲しいです。
36	いろいろ学べる講座が増えるといいと思います。
37	インターネットで学習できる内容と環境を充実すること。
38	インターネットに関しては、HP で公開すればいいというものではなく、常に発信して、新鮮な情報でないという意味はない。Twitter を活用すべきである。
39	埼玉芸術劇場へのアクセスです。浦和や武蔵浦和駅等から芸術劇場行きバスを定時運行する等実現出来ないでしょうか。さきたま古墳行きバスも非常に少なくて勿体ないと思います。鉄剣は最初はレプリカかと思いました。目前で国宝を拝見できる事は文字、書道を学ぶかたに垂涎ものです！埼玉県の宝です！古墳拝見後に美味しい加須うどん屋さんへ寄るツアーがあれば集まるのでは。年間ではなく春や秋1ヶ月ほど限定にすれば御負担も少なくなるのでは。(先日お邪魔した陽明文庫は年に数回しか開けないそうです。)埼玉にはスゴい所が沢山ありますね。ただ車で行かなければたどり着けないですね。主婦は平日の日中にお友達と食べ歩いたり、学んだりしたいので(勿論週末に家族ともですが)アクセスの確保が重要と思われませぬ。
40	がんばってほしい。
41	きっかけがわからないので情報が欲しいです
42	きょうよう(今日用)、きょういく(今日行く)は年寄りには必要だと思う。
43	こういった活動は、ボトムアップアプローチよりも、国と連携してどういう活動をすべきかをもっとカジュアルに進める仕組みを作った方がうまくいくと思います。時間の経過とともに一般のニーズも変わるので、ボトムアップで追いかけるのは大変だし散漫になります。
44	この企画を大いに歓迎する。年齢 80 を数えても、まだイノベーション掲げ続け、のぼり立ててゆきたい。
45	これからの高齢化社会において高齢者を関与させる取り組みも必要と思います。
46	これからの人生の中で生涯学習(特に地域に密接できるもの)をしたいとは思っています。
47	これらの活動について、自主活動が主体で、政策的な応援があるとの認識がなかった。主催者的な立場であるなら、感じるだろうが、1参加者のレベルだと、さほど期待すべきことはない。各団体との主催者との連携をお願いします。
48	サークル活動で利用できるスペースを手軽に予約でき、場所も増えると嬉しい。
49	シニア大学の総合的なレベルアップをして、高齢者の多くが学ぶきっかけをつくってほしい。
50	シューフィッターとして色々な方の足を沢山みてきたが、多くの方が(殆ど 100%)間違えて靴選びをしており、整形外科などに通っている方が多い、自分の足を正しく理解(サイズや形)し正しい靴を選ぶことでかなりの部分改善できる。啓蒙活動をしたいと思っているので場を与えて欲しい。
51	すべては本人のやる気次第です。
52	スポーツ施設の充実をお願いします。特にプールやしっかりした完備のジムがほしい。
53	そこに行けば、いつでもどこでもなんでも体験できる施設の充実。
54	それぞれのライフスタイルがあるが、やはり若いうちからそのような意識を持つような教育などが必要と思う。年を取ってからでは保守的になりなかなか難しい事が多いと思う。
55	それぞれの優れた見識を講師になって伝える機会を増やして欲しい。

56	歩きたばこの禁止を強化してほしい。
57	テレ玉をもっと活用するとよい
58	埼玉県は学習内容が薄いので、都内に出向いています。もっと充実させてほしい。通いやすい場所、定員も、増やしてほしい。
59	とにかく情報提供が大事だと思う
60	とにかく多様な情報をどんどん提供してほしい。
61	どの層をターゲットにしておられるのかというのが明確でないように思えます。県に意力的に動く意思があるのであれば、分かりやすく参加しやすくという風にガイドしていかないといけません。
62	なかなか講座を受けても自分自身で行えないジレンマがあります。いろいろな講座にいきました。市によって温度差があり活発に動いている人、要望がなく何も動けない人がいます。わたしは後者です。市役所に話しても相手にされずあきらめることもあります。やはり自分一人ではなにも出来ません。ちょっとした後押し、手助けがほしい！もっと近くで学ぶ機会もあるといいです。行くのは電車に乗り不便な場所で一時間以上かかります。
63	なるべく低価格で受講できるものを増やしてほしい。初級・中級・上級など専門的な講習を開いてほしい。
64	にわか学習のぞき見野次馬学習希望者を寛容する県民性に 裏付けされ、トレーニングによる磨かれた指導力と公共心あふれる県庁職員をしっかりと養成を願うものである。
65	パソコンが苦手です。紙媒体でPRしてほしい。近所の公民館講座をふやしてほしい。
66	パソコンを習いたいが高料金が安い。安く習いたい。
67	はっきり言って、正直分かりません！杖について車にも乗れない人間が何処へ行き何を学べば良いのか!?かつて駅の近くで「パソコンの初めての使い方」を学んだ事がありました。そこなら通えそうですのでとチェックしてみます。仕事をしながらは難しいですよ！
68	暇を持て余している高齢者の中にそれぞれの分野で特殊な技能を持っている方もいるのではないのでしょうか。そういう人々にこれから社会人となる若者達に有益なメッセージを講座をとおして伝えて頂けたらと考えています。
69	老後が不安です。これからの日本は年金で生きていけないとニュースでやっていました。県としてどう取り組んでるのでしょうか。
70	ボランティア活動の機会が増えたらなと思います。
71	ボランティア活動をしたいと思っているが子供を預ける場所がない。アイデアはあるが何から始めたらいいのかわからない。どこに相談したらよいか分からない。
72	ボランティア活動に協力したいと考えつつも、自分の家庭の生活周辺環境の変化により、活動が不発になったことが残念であります。「学習」という言葉そのものがリタイアした方や高齢者には馴染まない。
73	まずはきっかけ。
74	まずは情報発信に力を入れてもらえると助かります。
75	まず教育が充実した方がよいと思います。勉強嫌いを減らしてください。
76	まだまだPRが足りない。情報が入りにくい。積極的にPRしないと。
77	みんながアクセスしやすい公の施設での体験や講座の開催が増えると嬉しい。あるいはイベント限りで民間施設(ショッピングモールなど)と提携して実施してもよい(例、モラージュ菖蒲での子供フリーマーケット)。講座は高齢者向けが多く感じるの、子供向けも増やしてほしい。
78	もう少し、幅広い年齢層に適応した講座があると良い。

79	もう少し、積極的に宣伝して欲しいです。
80	もっと、宣伝に力を注いでほしい。
81	もっと駅から近い場所や夜間、土日など働く人に合わせた学びの機会であって欲しい。
82	もっと学習内容をオープンにすべきです。解りやすく。
83	もっと取り組みを紹介してほしい
84	やりたいときにやりたい学習をできるシステムがあれば良いと思う。
85	ユニークな発想を持つ優秀な人材が必要。公民館など施設管理はできても企画立案できる優秀な人がいなそう。皆さん役所本庁に戻りたい人ばかりに思える。
86	ライフプラン全体にかかわるような俯瞰したセミナーや講座が必要。仕事につながるような…。いつも何か欠けている気がする。
87	ラグビーボランティアとして熊谷に3回行きました。普段、県北の人と接する機会が少なかったので、新鮮な体験でした。今回感じたことは、埼玉県民といっても他の都市についてあまり知らないなので、他地域の市民とのつながりをもっと持ちたいと思いました。
88	リタイア後、無趣味な人達は家で何もすることがないので、TVなどを見るだけで過ごしている者が多いと聞いている。一歩家から出て、興味のわくことを見つけてするようになったらいいと思う。でも、人はお互いに支え合っの生き物であるので複数で行動するようにしたらいいかもしれない。
89	若者の就職支援の相談員や支援員のボランティア、高齢者の傾聴ボランティア、子供と遊ぶボランティアなど、サラリーマンでも土日を使って参加できる体制があるとよいと思います。
90	ガーデニングが好きなので 身近な人で集まって 駅周辺、空き地や道路沿いなどお花が絶えず咲いて楽しめるボランティアが出来たら楽しいと思っています。参加できる機会が増えたら嬉しいと思います。
91	以前はもっといろいろな講座があり、充実していた。今は生涯学習課主催の催し物が少ない。
92	センターの講座に、気兼ねなく参加できるように工夫してほしい。
93	医療の講座もありますが、発達障害や精神障害にも力を入れてもらえると嬉しいです。
94	一般的な知識だけではなく、その先の知識も教えて欲しいです。
95	一般的な働いている者にとって活用しにくい
96	一番身近な市町村だと講座が限られており、参加しにくい。ただそれに対しての対応も思いつかないので、多分自分としてはまだ時期ではないのであろうと思う。
97	引退した人ならともかく、子育て真っ最中だと経済的効果のある勉強しか、時間もお金もする余裕がない。
98	運動をしたいけれど体育館のトレーニング室は老朽化、区の体育館は駅から遠く、バス便不便。語学も学びたいけれど公共の学び場がないので民間の学校に通ったけど費用が高い。自分のニーズを満たすものが何もない。
99	駅や公共交通車内、スーパー等、人が行き交う場に情報を掲示して欲しい。
100	市民大学講座やウォーキングに参加していますが、スタッフや役員の方が頑張っている様子が素晴らしい。参加できることに常々感謝しています。

101	次のとおり、埼玉県には「生涯学習ステーション」というサイトがある。指導者情報、生涯学習イベント情報、まなびいが行く！、埼玉まなびいプロジェクト、げんきプラザほやほや情報！、埼玉県の生涯学習情報、県立学校等公開講座、県内大学・短期大学の公開講座、県立学校学習、文化施設開放事業。このような情報提供の機会を、継続して告知してほしい。
102	何かに役立てるとかの目的意識無しで気軽に楽しめるといい
103	何かやってみたいと思いながら、積極的に情報を駆使できる人は少ないと思うので、誰もが目を通しやすい市報やチラシなどで目に触れる機会が増えるといい。
104	何かを始めるときに情報を探るところから始めますが、その情報が身近なところで簡単に手に入るととてもありがたいと思います。市報、公民館、新聞折り込みなど。ネットでは探しきれないことも多いので、こちらで検索するのではなく、すぐに目に入る形での情報提供が有難いです。年齢が上になってきたからそう思うのだと思いますが。
105	何もしなくていい。
106	何をやりたいの分からない人たちが自分を含め多いと思うので色々な活動を紹介してもらいたい
107	何を学習したらよいか模索中。後押ししてくれる何かがないし情報もない
108	何気なくフラットに入れるような気軽な雰囲気醸し出す演出がほしい。
109	何歳になろうとも学び続けることで今より知性が高まり、より良い考え方や行動ができるのではないと思う。一生涯、学び続けたいと思う。それが生きがいにもなり、人生を楽しくしてくれる。
110	加齢に伴い遠方への外出が難しくなりつつある。より身近な場所で講座が受けられるとよいと思う。
111	介護福祉士です。居宅支援事業所に勤務中。認知症実践者講習会に、20日間の実習をする施設がありません。近所の施設に赴きましたが、今は教える人がいないということで3カ所に断られました。講習への出席ができません。
112	介護予防教室に参加しますが、これも生涯学習になると思います、見学会や他グループとの交流会などを織り込めば生涯学習の幅が広がると思います。
113	開催場所が偏っているので参加しづらい。人口が多い県南部でもっと様々な試みをして欲しい。
114	公共施設の場所が遠いので、少人数になってしまうかもしれませんが、身近にあるスーパーやコンビニなどに活動拠点を設置していただくと足を運びやすい。自転車や徒歩で行けるし、買い物ついでに参加出来る。興味が持てれば、多少遠くても仲間と参加出来るようになりますから。
115	学びたいと思える環境を作るために活動を継続して欲しいですね。
116	学びに定年はありません、中高年は経験を活かし参画していくことが大事です。
117	学ぶことの魅力を伝えるのが大事。若い頃は興味がなくても歳を取ると興味を持つこともある。多面的かつ多様な教養について発信して貰えると、誰か琴線に触れた人が集まると思う。
118	学ぶことは、豊かにしっかり生きるうえで、とても大切なことだと思います。
119	学ぶ場所が車で行くような距離なので面倒。公民館、図書館、老人福祉施設などできるだけ徒歩、自転車で出かけられるような距離に存在すると参加したい気持ちになります。生涯学習は、どちらかという、退職者、高齢者の方々が大半かと思われますから。
120	学べる場所が近くにあり時間とお金があれば取り組んでみたいです
121	学んだことを、他の人に広げる場の確保。
122	学校など、生涯学習施設のトイレを最新の温水洗浄便座に変えていただきたい。そのための資金を集めてほしい。
123	学校施設についてもっと使いやすくしてくれると嬉しい。公民館だけでは不足しているように思う。

124	学校配布プリントに情報をたくさん載せていただけると知るキッカケになるのでよいと思う。
125	学習する機会や場所を、自宅から近く参加しやすくして欲しい。
126	学習が出来る施設を増やして欲しい。
127	学習したいものはたくさんあるのですが、講座が開かれる時間帯が昼間であることが多く、フルタイムで仕事をしている立場からすると、夕方から夜間帯などでの講座数が増えることが望まれます。
128	学習する場所が遠い
129	学習で遅くなっても、安全に帰宅できる、治安の向上に努めていただけると助かります。
130	学習は一度だけでなく繰り返し受講できるようにするのが望ましいと思う。
131	学習機会が存在しても、出会えていないことが多い。コミュニティ参加のハードルを下げるのが最優先だと思います。
132	楽しければ人は集まります。堅苦しすぎるのは若者離れ。年だから・・・という言い訳する人と、これからの自分に責任を持つために若者に負けず頑張る人の「心の姿勢」の差が埋まること
133	楽しむだけでなく、社会的に認められる講座なども必要かと。参加するだけで修了証書がもらえるのでは社会的な評価は無理です。
134	サークルや企画の数を増やすなど、活動の機会を増やして欲しい。公共の場でポスターやチラシ等で目に止まる機会を増やして頂きたいです。時間帯が日中で、主婦や無職の方向けが多い印象。働いている人も参加できるような時間帯を増やしてほしい。
135	基本的な活動は、地域から始めてはどうか。町会、自治会の活動から始めればいいのかもかもしれない。
136	既成概念にとらわれない、さまざまな分野での情報発信を期待している。
137	期待することは特にありません。
138	機会が少ない。もっと多岐に渡るテーマをあげてほしい。
139	機会を見つけて参加したいと思っているが、最近参加したいものが見つからない。
140	気楽に参加、実践できるものが良いです。私自身は、現役の時に仕事で日々英語を使い海外出張も電話会談もしていたので、現在もラジオの英語プログラムのテキストを毎月3冊買い、毎朝聞き逃さず聞いています。講師の先生の質が良くなるほど、発見があり、脳の活性化に効果的と考えています。
141	気軽に参加できる1日講座や、本格的に資格が低価格で取得出来る講座などやって欲しい。
142	興味はある。意欲は薄い。
143	近所でやっている講座もあったが、参加しづらい時間帯。趣味の絵で、単発の講座があれば参加したい。複数回の時間を工面するのは学校や仕事がある人には難しいと思う。
144	美術館の企画展は県民が親しみやすいものにしてもらいたい。今のような展示では、見に行く機会がなく残念です。地元の図書館などで、美術館の地元作家の作品を展示してもらいたい。
145	近隣に行けるところがない
146	近隣の講座は、日程と時間帯が参加の意欲をそぐ感じです。(平日の昼間開催では参加できない)
147	啓蒙活動が重要だと思います。
148	自分の経歴から、講師として招かれることはあったが、自ら参加したことはない。これからは情報を集め、残りの時間を充実させていきたいと思います。
149	健康に関する学習がいいと思います。特に認知症、腰痛患者対策。
150	健康管理に興味のある方が多いと思うので、たくさん提供してほしい。

151	県が生涯学習を準備されると大宮、浦和という地域になってしまうと思います。生涯学習は身近な地域で行う事が負担なく進められることで、まずは触れてみて、経験して、継続するというスパイラルアップに繋がります。従い、市町村指導に重点を置き、充実させた方が良いと考えます。まだまだ地域の公民館のイベントが少なすぎる。学習指導ができる方も少ない様です。市町村におけるカリキュラムの決定方法、指導者の育成指導、定期開催の進めなどの指導をお願いします。
152	県だよりが、全家庭に配布されていない点からして、生涯学習の情報が入らないことに問題があると思う。
153	県でやっている活動を、もっと広く知らせてほしい。県立の施設は少ないし、県立の施設に行かないと広報紙も見かけない。
154	県の案内や一般的にある情報は、すべてが、グループや団体などに属する活動や発表であり、個人の取り組みや発表の場が少ないと思います。生涯学習とはもっと個人的なものであるはず。そこに焦点をあてた場が少ない気がします。とは言うものの、個人的に活動している人はおそらく個人の発表の場を個人的に持っているのかもしれませんがね(インターネット HP 掲示板 SNS など)。
155	県の運動施設(陸上競技場トラック)を個人で使えるようにしてほしい。陸連や団体・グループに所属していなくても使えるようにしてほしい。例えば、施設維持整備費として使用料をワンコイン(500 円玉 1 枚)かワンシート(1,000 札 1 枚)徴収する。完全復元、持ち込み物すべて持ち帰り(私物、ゴミなど)など、ルールを定める。
156	県の各イベントを何カ所かで開催して下さるともっと参加者が増えると思います。私の場合、遠いと諦めてます。
157	県の取り組みと自治体の取り組みの相互協力などの体制を確立してほしい。
158	県の情報をよく知りませんでした。
159	県の情報発信について、内容の大まかなグレードや、対象とする大まかな年代について整理されていると、チャレンジしやすいと思います。
160	県の生涯学習に関する取り組みがある事を知らなかったのも、情報の提供をネットだけでなく、紙面での提供もして欲しい。
161	県の専門家ボランティアに登録。市の人材バンクに講師登録。社協の健康講師登録。
162	県の中央まで何時間もかかる所では、参加さえも難しい事が多くなるのが残念。
163	県や市からの情報(ネットや紙媒体)を見て、様々な講座や集会に興味は抱くものの、たいいていの場合平日の昼間などに行われており、平日の日中に仕事をしている者の事が全く眼中に無いようだ。こうした諸々を週末に行ってもらえれば、より人生が豊かになるのだが。
164	講座の内容充実。いきがい大学の学費値上げ過ぎ。
165	県及び地元自治体の生涯学習に対する取組が不足している。
166	県西部に住んでいますが浦和、大宮方面に行きにくい。広報は地区ごとにしてほしい。
167	県当局が自ら実施するよりも、住民に身近な市町村や自治会が取り組めるよう支援して欲しい。休日の講師派遣を嫌がる個所もあり、是非、そのようなことがないような施策や指導を徹底して欲しい。
168	県内の各大学を積極的に利用、活用して生涯学習の密度を高めるのが、大切だと思います。益々高齢化社会になっており働き方改革と同様に生涯学習も抜本的な改革が必要かと思います。
169	県内の大学や高校の授業で学習できる条件を整備して欲しい。県内では少なすぎる。

170	県南地区は、市に任せる傾向が強いようだが、市毎にくぎられているので、やりたくてもできない活動が多い。市の壁を超えて自由に学べるようにしてほしい。
171	県民が気軽に学べる制度にしてほしい。わかり易く誰もが学べるシステムを導入してほしい。
172	県民サポーター歴も長くなってきたので、何回か生涯学習のアンケートにも答えています。よって県政として力を入れているのも分かりますし、自分自身も学習の機会があれば・・・と思ってはいるのですが、どうしても進んで参加できず、きっかけもつかめず・・・。県としての広報ですと、どうしても限界もあると思いますし、何かいい案があればいいのですが。
173	県立学校等公開講座のPRの方法のあり方や時期・地域など検討を要する課題である。
174	元気な高齢者は遠い場所でも社会参加できるが、不自由さや持病がある老人はどうしても家にこもりがちになる。そういう場合でも学びの機会を欲しいと思っている人が居ると思うので家に居ても情報が入り参加もできる新しい形態の生涯学習があると良い。
175	現在、公民館で活動を行っているが、その活動の場所(抽選)に困っています。
176	現在、生涯学習センターを利用させていただいて、シニア情報生活アドバイザーの有資格者が主体となって、近隣市町のシニアを対象に『シニアITいきがい大学』(1年制、30週90時間)を実施していますが、施設の使用料、テキスト作成費用、講師や補助講師への謝金、サーバー使用料など費用がかさみ、結果として、受講料を低く設定できません。このような企画に対しての県の補助はありますか？
177	現在70代ですが、これからも色々なことにチャレンジするとともに学んでいきたいと思っています。健康維持にもつながっていくものと信じています。これからも講座やイベント等の情報提供等宜しくお願いします。積極的に参加しようと思っていますので。
178	現在の取り組みで充分と思う。あまり活動支援をすると行政依存になりかねない、要は個々の参加意欲の問題だと思います。
179	現在は介護で忙しすぎて何も出来る状態ではないけど、全てが終わったら、何かしらやってみたい。
180	現状で十分と思う。あとは個人の問題。
181	現代では生涯学習という仰々しい位置づけにはしないのでは
182	個人的には充実した都内の施設を利用してしまおう。施設の充実はともかくも、情報発信は負けないように県にも頑張ってもらいたい。
183	公の場所を営利目的の個人が借りづらい。安価な講義代を求めたり、無料ならば借りられるが、教える側にも生活がある。無料ばかり乱立しても内容が充実していなかったり、サークルの域だったり。そのレベルが入門編で、そういう講座はいっぱいある。しかしその次がもうない。チケット制やローンを組んで通い続けられないいけないハードルの高い民間の教室が入門編の次にある選択肢という現状が、人が育たない要因のひとつでもあると思う。アドバンスクラスに対価を払ってでも受けたい人への機会が無すぎる。賃貸物件を借りるほどの規模では運営ができないが、少人数で行うことはできる、という個人の先生へのサポートの一環として、公の場所を借りられるようにしてほしい。また、学校の先生は副業が認められていないと思いますが、給与や出世に反映されるような制度を導入すればもっと協力していただけるのでは？なんでも安価に、または無料で手に入れられると思う人は我儘な人が多く、きっちりお金を払っている人は真剣です。行政が主催する講座も、レベルによって、対価を支払ってもらって講座をたくさん企画してください。
184	公共の場での催し物など、充実している方だと思います。
185	公共機関が深く関わる事は望ましくない。自発性を自覚させるイベント情報を望む。
186	公共施設でも民間を活用し、積極的な施策を展開してほしい。情報をもっと広めてほしい。

187	公共施設等の空き室の利用ができるようにしてもらいたい。
188	公民館などで学ぶ機会はあってもそこに初心者が行きやすいか、社会人世代が興味を持つ内容があるかといったことが難しいところなのではないかなと思います。
189	公民館の毎年の講座が代わり映えしない。
190	公民館を中心に活動しているが合唱の練習をするのに場所が確保しにくい。利用調整会議の度に苦労する。ピアノが不可欠だが時々故障してもすぐに修理してもらえず、困った。
191	講座の内容を、同じ科目とはいえ日々更新してもらいたい。2年続けて受講すると、配布資料も講義内容も全く変わらないことがある。
192	好きな時間に短時間で学べる講座があれば、利用したい。インターネット講座のような気軽さを求めます。
193	好みのテーマがないので都内に出て利用する。
194	広報が必要だと思います。
195	行政はもっと生涯学習の講座・教室等の情報告知をインターネット・広報紙等でしてもらいたい。宜しくお願いします。
196	行政機関が勝手にやっているみたいなお感を受けるので、よく分からない。
197	講演等を、もっと増やしてほしい。
198	講座の対象が老人と子供向けばかりのように見えてしまう。もっと働く世代を意識して企画して欲しい。
199	講座やイベントなどに関して、出来るだけ詳細に説明し、参加意欲が湧く様な情報を提供して頂ければと思います。
200	高度な研究をする大学がないと成立しないのでは？
201	高齢のため出かけるのに交通手段に苦慮します。小規模で近い場所で行われる学習は参加できます。公的な施設は場所が限られており場所取りが大変です。
202	高齢を迎えると。興味や学習意欲が低下します。自分の趣味でも継続が困難な状況になっており、意見なども思い浮かばず県政モニターとして恥ずかしい気持ちです。
203	高齢化する時代の指導者の今を、若者に順次引き継ぎを早急に促し、指導者の世代交代をスムーズにさせることを一番に考えることが、これからの大事なことになってくると考えます。
204	高齢化で体力、知識力の低下が続く中の意欲はますます薄れています。それでも、健康、脳の活性化の為に頑張っているところです。これからも広報、勧誘、その他メディア情報を注視し参加に努力していきます。高齢者の参加しやすいものを期待します。
205	高齢化の進むこれからのに於いて、個人ごとに生涯学習を高めることは、これまでの経験、知識を社会に活かし、また、認知症を減らすことにも繋がる。その学習へ誘うきっかけづくり、講座・イベント情報を目にする露出機会を増やしていただきたい。高齢者には、インターネットのホームページもさることながら、広報など紙面情報がより効果があると思います。
206	高齢化もますます進んでいくので、需要は高まると思う
207	高齢化社会に向けて、高齢者が興味を持てる内容を充実させていただきたいと思います
208	高齢者が増えているので、高齢者向けの生涯学習が多くある印象です。30代には生涯学習という言葉がピンとこないところがあります。ただ、子どもができて、自然体験などを含めた体験型のイベントには積極的に参加するようになりました。高齢者と幼児、児童と一緒に経験できるイベントを充実していただきたいなと思います。

209	高齢者になると過去の在籍時代と異なり、付き合う範囲が狭まり、孤独との戦いが始まります。これを打開するのは、高齢者向け学習機会と学習を通しての就業機会(金額は別にして自分の経験を生かす就業機会(特に作業労働に従事した方を含め、孤独感を回避する目的等)を考える講座は一案と思います。
210	高齢者向けの学びの機会を紹介するシステム充実して欲しい。
211	国際的な視野を身につける学習機会。英会話教室などを指している訳でない。
212	今、講演会などには都内に出かける機会がほとんどです。急速に高齢化する埼玉県には生涯学習のニーズはさらに高まってくる。老人向けに運動を主体とする取り組みは進んでいるが、社会、国際情勢などの講演など、文化的な活動が少ないように思う。身近で色々な講演会など(安い値段で)が行われるとさらに外出する機会が増えていいように思います。よろしくお願いします。
213	今に始まったわけではないが、県の施設をはじめ、利用者数やそでの意見があると何が足りたかの課題が見えてくる。概念、理念の重要性は20年前からあるので取り組む意義、きっかけを作る工夫を促すような施策を望みます。
214	今は、まだ時間が取れませんが いずれ参加したいと思います。
215	今はまだ幼い子どもがいるので外で働くのは難しいですが、いずれ再就職を目指すにあたって何か役立つ学習を始めなければと常々思いながらも取り組めていない状況です。子育てと両立でき少しでも家庭の足しになるような収入を得られる在宅ワークに必要なスキルを学んでみたいと思います。また、一番学びたいのは子どもへの適切な接し方など育児・家庭教育の方法についてです。また、今より家事のスキルを上げるための講座も受けられればなと思います。
216	今回のアンケートがきっかけで、初めて生涯学習ステーションの存在を知りホームページにたどり着きました。県はやってますよ、といったアピル的な感がして近寄りた印象でした。
217	今回のアンケートで、色々学べる機会があることを知りました。子育てが終わりかけ、勉強したいことは多いのですが、とくにそれを活かして何かするという事は考えていません。そういうもので良いのでしょうか
218	今回のアンケートで生涯学習について興味が出てきました。埼玉県での生涯学習についてもう少し詳しく調べてみたいと思います。
219	今回のアンケートで生涯学習の取り組みをしていることを初めて知りました。SNSなどを活用してもっと認知度が増えることを希望します。
220	今回のアンケートは、一番分かりにくく、独りよがりのアンケートと感じました。今回のアンケートの目的は何ですか？美味しく、優等生的なアンケートを集める目的は何ですか？
221	今後の活動が県民の生活を充実させることが出来るよう期待しております。
222	今更必要ない。
223	最初に参加できる機会をうまく作って欲しい。
224	彩の国いきが大学2年度制で学習してとても良かったと思います。卒業後はクラスがそのままグループをつくり、揃って折々出かけたり、出前学習を受講しています。
225	災害も増えて自分を守る術を自分なりに模索していかなければならない時代に、生涯学習は有用だと思います。災害から学べるような機会を多く作って欲しいと思います。

226	埼玉は、東京へ向かう電車があっても、横断する電車がない。それなのに、講座やイベントはいつも、さいたま市方面で参加できない。私の周りにも、たくさん参加したい人がいるのに、結局、一部の市民しか恩恵を受けないのはおかしい。同じ税金を払っているんだから、平等に受講出来るようにしてほしい。同じ講座を県内 10ヶ所ぐらいで行うなどしてほしい。埼玉は東京に比べて最低賃金も安く、学校へ行くお金がない working poor も多いので、無料講座があるとなお良い。ハローワークの資格講座など、一部の人間しか受けられない酷いものです。学びたいと思う青年に勉強できる機会を与えて欲しい。
227	県は、「シニア公開講座」の講座数を拡大して欲しい。
228	埼玉県では、多種多様な生涯学習に関する取組を行っていると思います。ただ、数ばかりが多く、パンチがない印象があります。一度、事業を精査した上で、本当に必要なものを充実させると共に、新たな事業を創出するなど、大胆な改革を期待します。
229	埼玉県による生涯学習への取り組みについて、SNS を通じた情報発信が不足している。
230	埼玉県に移住、また長く住み続けたいと思えるような、魅力ある取組を発信して欲しいです。
231	埼玉県の「生涯学習活動」については、国内でも上位クラスであることを理解しております。知事さんも交代して、ますますの活動の充実強化に、期待しております。
232	埼玉県のホームページに「ボランティア情報や人材バンク情報」等があるのを初めて知りました。今回アンケートに回答していなければ今後も知りえなかったような気がいたします。せっかくの機会です。参加する方をより多くするためにも、周知方法に改善点があるように思いました。
233	埼玉県の文化や伝統に触れる体験講座や座学なども充実すると良いと思う。
234	埼玉県広報は、各市役所にも設置してほしい。
235	埼玉県産業振興公社の講座がとても参考になります。回数や人数が限られているので、機会を増やして欲しい。
236	埼玉県生涯学習推進指針を初めて読みました。大いに参考になりました。県民が県が発する生涯学習の情報を積極的に得て、行動を起こす事が必要かと思いました。
237	埼玉西武ライオンズのホームゲーム(所沢メットライフドーム)観戦に行っています。シニア世代(60歳以上で、なるべく自力で球場まで来られる方)の方たちに、球場に足を運んでいただけるように、招待券または割引券を配布していただく。あるいは西武ライオンズ球団に、【シニア優待割引制度】を設けていただけたらと思います。一流のプロ選手のプレーを生で観戦することが、認知機能向上に効果があることが実証されているので。球場では車椅子での観戦対応に配慮されていますが、介助者が必要なので、身の安全を考慮して、健常者の方をご優待の対象にしたほうが良いと思います。
238	昨年まではスポーツ(卓球・太極拳)をしていたが肺癌の治療などと重なり参加できませんでした。
239	参加したい講義、講座は、時々見受けられるのですが、場所的な問題で諦める時があります。
240	参加の希望はありますが情報が不足していると思います。
241	参加者の自主運営をサポート。主宰者は結果を追求。
242	仕事が楽になれば余裕も生まれると思う。
243	仕事をしていると参加したい内容でも時間帯曜日合わない事が多いので、参加出来る日時を増やしてほしい。どちらかと言うと仕事をしていないお年寄り向けのイメージあります。
244	仕事との兼ね合いでなかなか参加できないので、参加しやすい日時があるといいと思います。
245	仕事のオンオフが難しいのですが、趣味や興味のある対象物があると気持ちを切替えやすいと感じております。
246	仕事を引退してから余裕があれば利用したい

247	子ども大学の実行委員に、ここ何年か携わっていて、子供と一緒に学んでいます。今後は、それ以外にも活動の範囲を広げていきたいと思っています。
248	子育てが落ち着いたら生涯学習を考えたいと思います。自身で目標を設定しないと難しいと思うので、是非成功談などを知りたいです。
249	子供が独立したら考えようくらいにしか思っていません。学習よりゆっくりしたい。
250	子供の数も減ってきて、高齢者は年金支給の不安、労働者は長時間低賃金労働で文化の衰退が目に見えています。特に、芸術に費用がかかる。個人に時間とお金がないとできません。個人にお金がない今、官で文化を推進するにも、個人的な趣味の違いがあり、そこに差別が生まれます。
251	子供参加の体験会が多いと思います。子供のいない者も参加できるような体験会があると嬉しいです
252	市が主催している活動は見聞きしますが、県主催のものはほとんど見たことがないのが印象です。
253	市の公民館講座も内容が同じのことが多い。
254	市の広報のような県の広報があり、生涯学習ステーションについて特集して、知らせてほしい
255	市や公民館の講座には予定が合う限り応募している。収容人員に限りがあるため抽選となり外れることもあるが、やむを得ない。様々な工夫をして各種講座を開催しているのでありがたい。県・市・公民館報などが家庭に戸別配布され、図書館(コミュニティセンター)などにも備えて更新しており手間暇を考えれば十分ではないかと思う。幸いインターネットにアクセスできるので不足する情報を入手している。
256	市報による生涯学習活動案内はかなり充実していると思っている。周囲を見れば一人で幾つもの生涯学習に取り組んでいる反面、やらない人もいるのも事実であろう。各市町村の人気講座を調査し、これを眠っている方向けに発信したらいかがか
257	市報に生涯学習の応募など記載されているのでしょうか。見落としているのかも…近くで私が受けてみたいカリキュラムがあれば参加してみたいと思います。
258	市民参加の大会をどんどん増やして欲しい。
259	指針等の表現が役所的でわかりづらい。県の方針を理解するためにも、一般の人(特にシニア層)でも素直に読めるような表現にしてほしい。
260	私(70代)が講座を絞りたいシステムにして欲しい
261	特に要望は無い。
262	住んでいる市で何度か生涯学習に参加していました。子育てをしながらであると、時間の制限があり、機会が減ってしまいました。時間がある時にはまた参加したいと思っています。歳の離れたお友達が作れました。
263	私は、10数年前定年後にいそがし大学伊奈学園(2年制)に入学、色々な仲間と知り合え、その後も良き仲間との付き合いを得ている。今振り返っても幸せだったと思う。地区別の同窓会にも参加しているが、近年受講者の質が変化していると思う。入学当時(一般に定年が60才)は地区のボランティアを養成するのが主たる目的であったと思う。近年、社会情勢が変化し、定年が70以上になり、その年になると自分の身体の維持が主目的になっている。県も中核都市にある老人大学を認めている様であるが、中核都市にも入らない市町村部のシニアに対しての方針が今一つはっきりしない。
264	私は7年ほど前に退職し、それからは認知症防止のためにも、美術館などに出かけたり講演会を聞きに行ったりしています。2年ほど前からは近所のコミュニティセンターの書道スクールに通い、書道の勉強を始めました。これからも生涯学習を続けていくつもりですので、タイムリーな情報提供をお願いします。

265	私は現在、県のいきがい大学へ参加していますが、昨日まで企業戦士として奮闘してきた者を一気に子供扱いにしてしまう、あるいは障害者にしてしまうようなカリキュラムでがっかりしています。デイサービスと同じです。
266	無料で主に公民館などを使わせていただいております。災害などが多くなり、県や市の予算も大変と思いますが、無料だから参加できるという人もいて助かることです。参加することは、健康面でも役に立っていると思います。
267	私は四月に中国地方から県内に引っ越してきましたが、地元市は、公民館の活動や、地元企業等が行う体験プログラムがあります。参加することにより、リフレッシュできる他、次の活動へのきっかけや経験、勉強にもなり、良い取り組みと思います。子どもがいるので、イベントや取り組みの際に無料の託児があれば、ママ世代も参加して学べる場が広がり、ありがたいので、そのような場もあれば良いなと思いました。(以前の居住地では市や保健センターのイベントや公民館のイベントで託児付きのイベントも多々あったので)
268	私は大人の食育とゴミマナーの再教育が必要だと思います。明らかに肥満は増え続けている中、義務化しても良いと思います。
269	資格取得のため講座が増えるといいな。東京都で行っているような生涯学習の講座があるといいなと思います。
270	資格取得の授業をもっと展開してほしい。
271	時間に制約がある給与所得者や学生に対しての取組を強化していただきたい。
272	自治会をしています。市、介護施設、病院と連携して集会室にてリハビリ体操教室を実施しております。
273	自治体がいくら取り組んでも無理だと思う。シェアリングに取り組む NPO に協力してもらうとか外部の力が必要。
274	自然や健康をテーマにした取り組みの充実を期待したい。
275	自然保護活動やそれを学べる場を、増やして欲しいです。
276	自分が住んでいる地域のそばで、開催されないため参加していません。
277	自分では、十分学習しているつもりでも、高齢になると億劫になりがち。現在の活動内容をよく知らないの、何とも言いようがない。PRが不足しているのではないのでしょうか？
278	自分なりに学んでいて、年齢などによって制限されることが多いと感じています。何歳になっても、自分の学びたいことが学びたいように学んでいけるようになったらやりがいもあり楽しいだろうと思います。
279	自分の知識や経験を人のために提供したいと思っている人は多いと思う。しかし、実際に必要とされているレベルがどの程度か分からないので、積極的に働きかける意欲がない人が多い。どのくらいのレベルの人が求められているのかはつきり分かる基準があれば、名乗り出る人も増えてくるのではないかと思う。
280	自分はまだ学生のため「生涯学習」は先のことのイメージがある。しかし親世代や祖父母世代が学びを深めるのは良いことだと思う。何かに興味をもてることはいきがいにもつながる。学ぶための情報発信の充実を期待したい。
281	「生涯学習ステーション」に関して。昨年も同じ質問があつて指摘したが、イベント名をクリックしても施設の HP トップページに飛ぶだけで非常に不親切である。典型的なお役所仕事で、利用者目線に立っていない。生涯学習といっても幅が広く、趣味や教養に関するものは民間でも数多くあるので、埼玉県しかできないこと(埼玉の伝統産業や歴史／文化／課題に関するセミナーなど)に重点を置いて取り組むべきではないか。

282	60代になったがローンは72歳、年金は65歳、収入は激減。余裕がない人が多いと思うが・・・
283	実際にどういった活かし方ができるのかを実例で情報提供して欲しい。
284	実施している高齢の方々のつながりが強すぎる感あり、入りづらい面がある。その方々は指導的役割を意識しているのだろうが、初心者・初参加者には一歩引く受け止めとなっている。
285	社会人はその生活のほとんどが会社となる。行政は企業に対してもっとアピールし、協力を仰ぐことや義務的な措置などの検討が必要。
286	主婦に、自由時間を認めてほしい。夫に気兼ねして外出がしにくい。
287	取り組みの中心は何か、そして県の特徴ある取り組みをコンパクトに継続しましょう。
288	趣味に関するもの(映画鑑賞、音楽鑑賞、スポーツ観戦、読書など)が生涯学習に含まれるなら、取り組みやすい。予約なしでも立ち寄って体験できる講座やイベントが多ければ、取り組みやすい。
289	趣味的なものより実学や資格取得系の方がコンセプトも分かりやすくモチベーションに繋がりがやすいように思う。資金支援とオンライン学習活用でのコストダウンは有効に思います。
290	住まいの近くでの開催でないと参加はしんどい。
291	住居地の生涯学習講座を一度受講したことがあるが、県の事業の存在は話題にならなかった。存在そのものを周知するべきと思う。
292	住民が得意な分野の講師になる
293	住民の生涯学習活動に、県や市町村が関わってほしいと思います。お互いに協力して助け合っていきたいと思います。
294	出張講座の内容を多様に充実してほしい。
295	小学校などの空き教室を使うなど、世代間交流をすすめられるよう課をまたいでの施策をお願いしたい
296	少子高齢化社会の進展に伴う、自助・共助(協助)の更なる県民各自の努力とそれに伴う、講座(教育)・機会の拡大充実。具体的内容では、地域でのコミュニケーションの充実と各市町村間の連携を密にした横断的な活動提起と指導者の育成、状況により県の指導者派遣と助成金検討。
297	障害や介護・医療の分野は毎年変化しており、そうしたことに対応するため啓蒙活動をもっとやるべきと思う。
298	障害者芸術に関する助成金制度を復活させてほしい。
299	常に好奇心をもって生活を継続することが大事だと思います。
300	情報がどこにあるか分からなかったり、開催場所が遠かったりするので、色々な場所で開催していると嬉しい。
301	情報が入ってこない、ネットやメルマガなどで周知させることが必要かと思う
302	情報を多く提供して欲しいな。身近な場所に。例えば駅、電車の中、民間のスーパー、自治会、交番、銀行の支店内など。
303	情報発信の方法を SNS やメルマガなど多角化し、今後も積極的に取り組んでほしいです。
304	色々な人達が気持ちよく参加出来るような声掛けが出来て、参加人数が増えると良いですね。
305	色々、学ぶ中で情報提供が欲しいのです。
306	新聞をとるのをやめたので、情報が手軽に入るような仕組みづくりをお願いします。
307	親の介護をするまでは、いろいろ取り組みましたが、いくら支援体制が充実していても、時間がないと、難しいです。

308	親子で参加できるスポーツや野外体験の促進。公共機関の施設充実(特にバリアフリー化のトイレ改善)。
309	身近な公民館や図書館での講演を増やしてほしい。
310	身近な場所で行ってほしい。地域の公民館などは、本来住民の学習の場だと思う。しかし、貸し部屋のような使われ方をされており、真に地域住民の市民としての学習や交流の場とはなっていないように感じる。公民館のような身近な地域拠点の活性化のためにも、住民のエンパワメントを担うことのできる職員の配置を行ってほしい。
311	身近にあれば、参加したい
312	身近に実践者がいない。話も聞かない。実際何をしているのか分からない。ハードルが高いのかもしれない。日常生活に関係ない講座が多いのかもしれない。もう少し身近なところで身近な内容の講座があるとよい。
313	人との関りが嫌なので、参加しない
314	人口に対して、数が少ない気がしますので、もっとハードルを低くしてたくさんの方が参加できるような人数体制、気軽にできそうなアピールをしてほしい。はじめに躊躇してしまいそうな壁がある気がしました。
315	人生100年を年金ではなく収入を得て税金を払える人生を続けていけるように導いてほしい。
316	人生100年時代と言われる中で、人生のどの局面でも学習できる機会や場所を提供いただくことを埼玉県に期待します。
317	人生100年時代に対応した骨太な実行を期待する
318	図書館のPC関連図書で古いものが多い。PCのような日進月歩の項目は出来るだけ最新の情報が欲しい。
319	図書館の充実で十分。あとは個人にまかせればよい。
320	図書館や公民館での開催講座数が、もっと増えるといいです。
321	推進していただきたい
322	町の健康アカデミーに参加しているが、最初の講座で挙げられたのが「町が抱える問題(財政難・人口減少)」で学習意欲が削がれた。前向きな姿勢になれるようなアプローチの仕方が、より効果的なのではないかと思った。
323	公的機関で色々と生涯活動を実施している場所があることを知りませんでした。もっと色々とアピールして、利用しやすくしていただければ大いに利用させて頂きたいと思います。
324	生涯学習について深く考えたことがありませんが、自分が住んでいる埼玉の歴史や文化を深く知りたいとは思っています。埼玉県が歴史の教科書に取り上げられることはほとんどないと思います。だからこそ、誰も知らない埼玉の歴史や文化を「面白く、センス良く」紹介・発信していくことが大切だと思います。生涯学習と地域への愛着は、切っても切れない関係にあるはずで、学べる材料がまだまだ眠っている埼玉をみんなで深掘りしていければと思います。
325	生きがい大学の更なる充実を希望します。
326	生涯ステーションのページの存在すら知りませんでした。ざっと見た感じでは、地域毎に分かれて書かれているだけで、学習内容項目のカテゴリー分けがされておらず利用しにくいです。ページ内で、学習項目、日時、場所と検索できる状態になればよいと思います。また、その場所で学ぶ必要があるものは遠くても足を運ばなければなりません、そうでない場合はネットライブ配信、その時間に参加できない人向けの動画をダウンロード可能にする、若しくはユーチューブに残すなどといった具合にしてはどうでしょうか？今は個人でも配信できてしまう時代ですから、折角進んだ技術を利用しない手はないと思います。

327	生涯学習＝シニア世代というイメージを払拭するような、裾野を広げるような施策。
328	生涯学習ステーションのことをあまりよく知りませんでした。県の広報紙などを使って、宣伝していただくとありがたいです。働いている人や子育て中の人に対して、休日・夜間の開催、託児所を設けるなどの配慮があるといいと思いました。
329	生涯学習ステーションのサイトが県のホームページにあることをこのアンケートで初めて知った。内容は興味のあるものがあつた。いいものがあるのに情報提供の手段が不足していると感じる。毎月の広報紙に生涯学習情報としてイベントを載せるのが良い。県や市のホームページは普段見ることは全くない。県や市のホームページ等全く見ない、普通の人はそのような感じと思う。公民館への Wi-Fi 設置はかなり前から提案しているが全く進んでいない。外国人への日本語学習を公民館で行っているがタブレットで検索することも多い。和光とか所沢は 5～6 年前から公民館、学校にも設置しているらしい。
330	生涯学習ステーションのページは初めて知ったが、各催し物の詳細にたどり着くまでに何度もクリックしなければならないので、ちょっとおっくうです。特に、ジャンル分けが地域別なのはどうか。今回のアンケートの設問1や設問9では、生涯学習のジャンル毎に選択肢を用意しているように、催し物のファーストコンタクトは「どこで」行われているか、ではなく、「何が」行われているか が重要だと思います。県やコバトンのツイッターはよく動いていて、いつも知らなかった情報を教えてくれてありがたいので、生涯学習ステーションもアカウントを開設してみたいかどうでしょうか。各自治体の HP のイベントや催し物を拾ってきて、ツイッターで紹介するだけでもよいと思います。(生涯学習ステーションの内容を見るかぎりでは、掲載している自治体にかたよりのあるように見受けられます。)
331	生涯学習ステーションの情報は参考になりますのでさらに充実させてください。
332	生涯学習ステーションの存在を知らなかったので今後趣味、教養の分野を中心に必要な情報を収集したいと思います。
333	生涯学習ステーションの認知度を上げて欲しい。
334	生涯学習するより、生涯現役でいたいので、仕事をしていきます。
335	生涯学習という言葉が、何より馴染みがない。違う言い方の方がいいと思います。
336	生涯学習という言葉はよく聞くようになった。しかし、行政が生涯学習と認めたものが生涯学習なのか、趣味も生涯学習なのか、曖昧なことが多すぎる。生涯学習に何を求めるかなど、生涯学習とは無縁の中で生活している私は途方に暮れる。仕事を一生懸命、毎日の暮らしで一生懸命、では生涯学習に携わっているとは認められないのか…。高齢で体力に自信があれば生涯学習に参加できるのか。どうも、生涯学習の推進は不明瞭すぎる気がしてならない。
337	生涯学習といわれている活動なのか、それ以外に趣味などの活動も入るのか、定義がはっきりせず、回答しにくい。生涯学習ではないけれど、ボランティアのセミナーなどには参加したが、生涯学習では無いし。質問者が分かっている、された方は定義を読んでもわからない。
338	生涯学習とは何なのか。職業訓練学校とは違うのか。もう少しターゲットを決めたほうがよい。基本的に仕事と関係ないことには、わざわざ公共の機関など利用しないで、好きなことをやると思う。例えば、バイクの免許、小型船舶の免許など、免許がもらえるものに補助金をだせばいいのではないか。バイクの免許が半額でとれるなら、かなりの人が参加すると思う
339	生涯学習と言う表現が、お年寄りが趣味で何かをしているイメージなので、まだ、自分には関係がないと思ってしまう
340	生涯学習と呼ばれるものが何を意味しているのかが不明。『趣味』とも書いてあるが、どの程度の趣味や活動をもって生涯学習とするのかの基準が不明。
341	生涯学習などと大げさに考えずに、もっと身近で趣味の延長のようなものであって欲しい。

342	生涯学習などは県が手を出す必要はありません。止めて予算削減した方が良い。
343	生涯学習なのに・・・のめり込んでいる人が居るとやりづらい。
344	生涯学習について、自分から進んで調べないと解らない。PRをもっとして欲しい。
345	生涯学習について税金を使う性質の分野ではないので、あくまでマッチングに留めておいてください。併せて、時間に余裕のある定年退職者や専業主婦にボランティア活動させるよう施策を立てて下さい。
346	生涯学習について、毎日、新聞を隅々までよく読んでいます。世相に遅れないように努力しています。高齢になると、参加することが困難になるので、自分なりに出来る方法で、頭をサビつかせないようにしています。
347	生涯学習に関し、自治体が支援しているとは知らなかった。本気でやっているのかどうか疑問だが、活動は充実させてほしい。
348	生涯学習に関してこのアンケートがとても良い情報源になりました。60代ですが、前向きに考えてみたいと思います。
349	生涯学習に関するPRがとても不足しているように思う。各市町村経由でも情報を積極的に流してもらいたい。
350	生涯学習に関心が無い人、取り組む環境に無い人への対応、難しいですね。
351	生涯学習に参加することについて、働いている今は、難しくどうこう言うことが出来ません。
352	生涯学習に参加するとお金がかかるというのが困る。そもそも生涯学習に参加するという考えがおかしい。何かに参加しなければ学習できないと考えている人が多いのでしょうか？
353	生涯学習に資格又は証明書を出して履歴書に書けるようにしてほしい。
354	生涯学習に取り組むにあたり、身近な地域で行うことが出来る仕組みを構築していただきたい。
355	生涯学習に取り組もうとする人は年齢が上なので 近くで学習できるということが必須だと思います。だから近くの公民館等で行われると良いかと思えます
356	生涯学習に触れていないので、今回のアンケートは内容がよく分かりませんでした。
357	生涯学習のイベントとして、児童及びその保護者を対象としたものと、高齢者を対象としたものが多いと感じる。他の年代を対象にしたコンテンツを増やして欲しい。
358	生涯学習のお知らせ情報を、年金機構からのお知らせ通知の様に、希望者に定期便(例えば、年に2回とか)で内容ごとに分け、有料・無料の選択もできると助かります。
359	生涯学習の意義をその根本から考えて、もっともつ他の取り組みとの相互調整、総合一体化が必要と思います。そのためにも、ふさわしい施設を、県西部にも設けて欲しい。なお、国は、『コミュニティスクール』の取り組みを随分前から提唱しているが、県の取り組みの不十分さからか、未だ住んでいる町の取り組みが出来ていない。戦後の教育制度の改革は、国からの強制力排除の名のもとに、基本的な人間としての情操教育(人間の尊厳、思いやり、自己犠牲も辞さない他人との協力意欲等)について、教育制度全体を通じて総合一貫したものがない。『市町村任せ』という、占領軍政策の自縛から、県は早く脱却して欲しい。敗戦直後の教育のゆがみを正すのは、『現在の親世代』を如何に自覚させるかが、今後の日本(人)の発展に、大きく作用すると思います。それには、『憲法前文』を少しでも広く国民の基本認識にすることが大事だと思います。自国民の尊厳、存在そのものの重要性を認識させるとともに、広く世界に目を向ける国民意識を持つよう善導することが、既存の教育を終えることになる。人生の生きがいを求める国民への重要なヒントを提供するのが、『生涯教育』を考え、企画する県の責務であると考えます。

360	生涯学習の意味や価値をどう見つけるかから始まることではないでしょうか。それぞれの人がインセンティブを持って臨めるように働きかけていくことを期待しています。
361	生涯学習の機会・講座を設けたとして、それをいかに多くの県民に知って頂き、参加して頂くかが課題だと思います。特に生涯学習にもともと興味が無い方だと、講座や制度を自ら調べることもないように思うので、そういう方にどう知って頂いて参加して頂き、そして結果的に利用した県民の生活にとって価値あるものにできるようにしていくことが求められると思います。
362	生涯学習の機会を見つけて参加していますが、物足りない、深みがない。内容を充実させてください
363	生涯学習の市民企画委員として、セミナーの企画・運営に携わっているが、公共の交通網が不便で、自家用車での参加がほとんどです。場所を変えて同じセミナーを開催しているが、うまくいきません。だれでも参加できるような方法を考えないと。免許返納後の楽しみがなくなってしまうのではと思う。
364	生涯学習の指導者です。県、市の担当者の方が通り一片の事業しか知らないように思います。私の場合、折り紙を指導していますが、子供の講座、高齢者の生き生き活動の様な依頼が多いですが、もっと一般の人も楽しめるカリキュラムもあります。固定観念を捨てて依頼をしてほしいと思います。
365	生涯学習の情報があまり無いし、地元でもあまり行っていないので、もう少し充実させて欲しいです。
366	生涯学習の宣伝、周知、を更に充実して欲しい。
367	生涯学習の前に「自転車は車道の左側を走る」といった生活常識の徹底をはかっていただきたい。高齢者の勝手ぶりは目に余る。
368	生涯学習の捉え方の温度差は、きっと環境格差だと思います。そこをもう少し統一していったら、また違うかなあと。生涯学習のその先のことが分かるようにしてほしいです。地域なのか、個人なのか、いろいろなのか。
369	生涯学習の難しさは最初の取り組み方と思う。体験をしたい気持ちは大いにあるが最初の取り組みがどうしても腰が重くなる。特に未経験の生涯学習で個人参加はなかなか参加する勇気がない。未経験者が参加できる手法を期待しています。
370	生涯学習の普及する場所が少ないので、コミュニティーセンターなどの集会所が沢山ほしいですね。場所取りが大変なのが現状です。
371	生涯学習の分野や対象年齢も多岐にわたり、充実していると感じました。ただ開催される地域に偏りがあり、参加したくても遠方で出かけるのが面倒になってしまいます。よく探せば市で行っているものもあるかとは思いますが、自分の市でも行ってほしいです。
372	生涯学習は、仕事から離れた高齢者の健康づくりや地域との関りを深めるためにぜひとも必要だと思う。その普及のために、公共施設のみならず、民間施設でも盛んになるように、県政がさらなる援助をして欲しい。
373	生涯学習は第一に本人が学びたいと思うことです。その補助として公的な機関が役に立ちます。生涯を楽しむためにこれからも続けたいと思います。
374	生涯学習は基本的には個人でできることなので、個人で生涯学習を行っていくための後押しになるようなことをもっと行うべきだと思う。
375	生涯学習は興味ある人は調べてでも行きますが、関心のない人は情報も知らないと思います。駅やスーパーなど日常の生活で利用する人が多い所で発信すると関心もつ人が増えるかもしれません。HPでも同様だと思います。

376	生涯学習は公民館での活動など行政の責務です。民間と同じ目線でやってはいけません。ホームページが見つらくわかりにくいです。例えば図書館の集いが、いつ開催されているのかなど、クリックしないと分かりません。表題をクリック行に入れるだけで分かりやすいです。講師やインストラクターで、有料の方については、詳細な情報を期待します。
377	生涯学習は高齢者の第2の人生にとって大変重要になります。私も多くの学習の機会を望んでおりますので、取り組み内容を多く提供ください。期待しております
378	生涯学習は子供や老人が対象になっている様な気がする。我々世代が学べる時間帯に提供されていない。
379	生涯学習は自己研鑽と知っている。他の人に関わらないもの。従って県に期待や要望はない。
380	生涯学習は自分から取り組もうとする意欲がなければ全くやりません。人生を充実させるための手段の一つとしてとても大事ですし、人と関わりたいのに孤立してしまっている人を減らすことは良いことだと思うので、行政が率先して情報提供することで助かる人もいます。ただ、県のホームページに生涯学習ステーションがあることはこのメールで初めて知りました。県のホームページがもっと利用しやすくなると認知度も高まるのではないかと思います。
381	生涯学習は重要です。
382	生涯学習は心を豊かにして心身を健康に保つ素敵な時間だと思います。生活、人生を充実させてくれると思います。その人に合った学習が見つかる幸せだと思います。人生の道のりの何かを学ぼうとする貴重な時間だと思います。
383	生涯学習は知識を豊富にし、技術の向上を図るだけではないと思う。人間性を高め、また介護にもつながると思っている。ついてはその点を広めて、いかにも『生涯学習』というように思わせないような誘導が大切だと思う。
384	生涯学習への取り組みが自然にでき、あまり構えず参加できるといいなと思います。
385	生涯学習も重要だが、そのベースとなっている家庭学習もおろそかにしてはいけません。継続こそ力である。
386	生涯学習も同じですが、各講座バラバラの申し込みでなく、1フェースで申し込みができるようにしてほしい。講座の内容及び費用の内訳なども、一覧で見られるともっと参加しやすい。
387	生涯学習をさらに普及してほしいです
388	生涯学習をやろうとしても、前任者があまり歓迎してくれないとか、閉鎖的な活動がある。もっと、いろいろな人を歓迎してくれるリーダーの教育をしてほしい。
389	生涯学習を学ぶ場所作りを充実して欲しい。情報を多く発信して欲しい。
390	生涯学習を活発にするためには、県内の各地域の課題を認識して、リカレント教育など個人の学ぶ意欲を刺激する社会教育を行って欲しい。
391	生涯学習を推進する理由が、コミュニティ力を上げるという観点であるならば、会議や情報伝達の効率が良くないことを改善することで、人数や負担を減らすことができると思う。会議は、集まっても情報伝達のためが多い。また、会議の目的がはっきりしないものが多い。既存のものは継続でも構わないが、ある程度、県として出したい結果につながる学びにつながるものを優先的に構築し、広報した方がよいと思う。
392	生涯学習を無料でやり、修了証などが出ると更に良いと思います。
393	生涯学習活動に参加することで、友達の輪も広がり、自分自身も向上することができるが、活動の場所がなかなか取れなくて苦労している。公民館や地域の交流センターだけでなく学校等の体育館の開放も考えて欲しい。

394	生涯学習活動は市が主催しているものを中心に利用しています。県が行う内容や市町村が行うものとの棲み分けが良くわかりません。情報を提供される側にとっても、どのように棲み分けされているかについて、整理されたものがあれば、把握しやすいと思います。
395	生涯学習講座に参加しているのは平日、時間に余裕がある方たちでしょうか。また、いつも決まった方が参加している事が多いのではないのでしょうか。社会人にも多く参加できるよう夕方からや休日の開講を希望します。情報の周知に関しては工夫をして頂きたいと思います。
396	生涯学習自体定義が不明で、勉強などは個人が自由にやるものだから、自治体が金を使う必要性に大いに疑問を持ちます。
397	生涯学習推進のアピールには、個人の人生が豊かになると言う表現が多いと感じるが、それよりも学んだ人は社会に必要とされる人になるというアピールに変えた方が、学習参加へのモチベーションを上げることができると思う。
398	生涯学習活動は個人の意思が一番重要です。私も色々やっているのですが、室内運動系はどうしても場所の確保、予約が難しいのが現状です。特に体育館は、少し離れたところにあります。また、高齢化社会の到来で、支出に関しては、財布の紐が固くなるので、そういったところをどのような形で対応いただけるのかを検討していただければと思います。
399	生涯学習は人生を豊かにする上で大切と思います。
400	青少年相談員活動を行っています。子どもたちと接することで、自身の成長にも繋がります。様々な経験をすることで生きがいになり、人生が豊かになると思います。
401	税金は有効に。バラマキはやめてほしい。赤字の行政はない方がまし。
402	税金を投入しましょう。
403	税金を投入すべきではない。
404	先進的な取り組みを推進する助けをしていただきたい。
405	先々代知事時代におこなわれていた生涯学習への助成や支援が前知事時代に廃止され 現在取り止めまたは縮小されたものが多いように思う。自分自身の経験として、文化財研修に参加出来、多大な感銘や知識が与えられた記憶がある。予算の関係もあろうが もし復活できたならと惜しまれてならない講座も多いと思われる。
406	様々な資格が取れるようにしてほしい。年をとっても学ぶ事をしていきたい。
407	宣伝が必要
408	他県から転入してきて2年になりますが今まで7年間行ってきた国際交流ボランティアの知識を生かす場所がありません。地域コーディネーターとして外国人家族との共生サポートを行ってきたのですが、個人のボランティア団体か県庁所在地での活動しか見つかりません。きっとたくさんあると思うので、見つけやすいようにしてほしいです。ずっとダンスを習ってきたのですが、県中心部にしか教室がありません。もっとカルチャーセンターや文化施設での学ぶ機会を増やしてほしいです。県政応援サポーターの会議などもあれば参加したいです。
409	多くの施策を展開していることが分かりますが、実際に住民まで具体的に生涯学習の取組が行き渡っていないのではと思います。自ら進んで探すことはやらないと思うので、県市の広報活動を頻繁に行うことではないかと思う。気軽に取組めるシステムも考えることではないでしょうか。
410	多くの人が生涯学習に飢えていると思います。だから、情報提供と活動は場所の柔軟さを工夫し、豊かな県民へとチャンスを広げて下さい。
411	体調を最善の状態にして前向きな姿勢で学習出来るようにもっていきたい。

412	退職後、県内の「いきがい大学」を紹介されて、地域社会との交流が出来、家に閉じこもりのない体験活動は、実に生き生きとした毎日を過ごせている。しかし地区に生涯学習の機会のバラツキが非常に大きいと実感している。参考となる県のリードが地区行政に活かされていないのは残念である。
413	大学で一般向けに行われている講義を公開すること。学習を活かせる機会の情報を広く周知すること。
414	大学の講座にはよく行きます、自分生活に活かせる講座等に限ります。
415	第一に生涯学習への参加者を増やし、充実した人生を送る機会を提供すること。それには指導者の確保と継続した育成が必要だ。その要件に見合う人財を常にウォッチし確保するシステムを作るべき。指導者人財バンクの充実。
416	誰もが1歩踏み出すきっかけを作ることでしょうか。その為に、多くの学習機会・内容・身近な場所などの情報提供を望みます。私も自分がやりたいと思っていたことが、市の広報に載っていたことで、学習の機会を得て今の活動に結びつきました。特に高齢者が行動しやすいになればと思っています。
417	団塊の世代として自身のこれからも地域のこれからも、生涯学習は益々必要になっていくと思うので、具体的に参画しやすい事業の構築や情報の提供を望む。
418	男女共同参画アドバイザー制度をなくしたことは残念だった。人権教育はあらゆる分野で大切で、カリキュラムに入れ続けてほしい。
419	知っていてもあまり得をすることは無いが、知らないと損をする事が多いように思う。これからも、いろんな形で取り組んでいきたいと思う。
420	知らないだけでいろいろな事を埼玉県がやっているのを知りました。住んでいる市でもやっているなんて、初めて知りました。参加してみたいです。
421	知りたいこと学びたいことは果てしなくある。身近なところと重要だと思うところに絞って学んでいきたいと思っている。お金はかけられないし、時間と体力がないので出来ることには限りがある。日本は人材育成に必要なお金をかけないと思う。これからの世界で日本と日本人が生き残っていくために、生涯学習であっても人を育てるのだから、もっとお金をかけてもいいと思う。
422	地域、行政の意見を聞き、活動の推進に力を入れて下さい。
423	地域によって学びの場が少ないように感じるので交通の便のいい利用しやすい施設を開設して、情報提供すべきと思います。
424	地域の生涯学習を通じて、年齢関係なく、地域のつながりが深くなるような取り組みがあるといいなと思います。年齢が幅広く集まるような講座を企画していただけるといいです。
425	地域の中で、公民館は重要な基地である。しかし館長が「天下り」では活性化しない。館長の募集を公募制にし、活気にあふれた雰囲気を作り、特に高齢者に対して起爆材になるよう再考すべきである。
426	地元の食材を使った、郷土料理を学んでみたい。交通の便の良い、駅の近くで開催されるイベントや講座がもっとたくさんあると助かります。
427	地元の神輿は含まれませんかね。
428	仕事をしているので、日中申し込みの電話ができない他、直接申し込みに行くのが難しくあきらめてしまうことがあります。ネットで応募ができると助かります。行きたい講座があっても、離れた場所だと移動時間がかかります。同じような講座を県内各所で開催されると嬉しいです。
429	昼間開かれている音楽会が充実しています。安価な費用で鑑賞できるようにしてほしいです。
430	長寿で元気を基本とした施策を講じてもらいたい。
431	低額で参加できる楽器などの学習の機会を増やしてもらいたい。
432	低費用で学べるシステム作り、また時間の確保が出来ればやりたいと思う。

433	定期的にチラシを配って欲しい
434	定年後の再就職に生かせる内容の学習ができるとういと思う。例えば提案資料作りとか知見を資料化できるような内容が良いのではないと思う。
435	土日祝日にも開校する学習講座が多くあると良いと思います。平日の昼間の時間帯はリタイアされた高齢者や専業主婦など、時間のある方を対象としているにすぎず、実は、生涯学習は現役で働いている人の方が希望していることが多いと感じています。そういう人のニーズを拾って頂きたい。
436	東京に比べると図書館も博物館・美術館などの質がおとる。一度、都内の図書館などを見学し、県にないものをもちこむといいですよ。レベルが低いような気がします。
437	動画や SNS を使って、オンデマンドで学べるようなシステム作り。
438	個人で求めて行動する中で、経験し得ることが大事だと思う。意欲ある行動が方向を決める。
439	家に居たい人を、外に誘うのは難しいです。
440	子供たちが独立するまでは、仲間とかで何かをする時間がないので、とりあえず自分の趣味の範囲で楽しもうと思っています。
441	特に高齢者(年齢層)に見合った学習カリキュラムを用意してほしい。
442	南部地区は充実しているが、わたしの住んでいる市周辺では盛んではない。北部にも県の生涯学習のための拠点がほしい。
443	難しいかもしれないのですが、自由参加の企画があると参加しやすいです。興味のあるイベントや講座はたくさんあるのですが、小学生から高校生の子供がおり、土日も含めて(学校行事や部活動が不定期にあり)自分の予定が全くたてられません。申込をしたくてもできないことが多く、まだまだ自分の時間は持てないのかな、と思うばかりです。
444	年間を通じて簡単な宣伝紙を新聞等に入れて配布してはどうか。
445	博物館や史跡を巻き込んだマニアックなイベントがあると嬉しいです。個人的には寺社仏閣が好きなので、寺フェスみたいなものがあると少し遠くても行きたくくなります。
446	費用がかからないようにして頂きたいです。
447	普段、仕事をしている人へのアピールが足りない
448	幅広いジャンルの講座が存在しています。連続する日程での参加が難しい中、単発の講座や活動に参加しています。今後も参加できる講座に出会って楽しみたいと思います。
449	福祉との連携・施設への出前講座や福祉関連職員との連携や協働を必須としなければ、超高齢社会に対応できないと考えます。
450	平均寿命が伸びる中、人生経験を充実して送れるように生涯学習を広めてほしいと思います。
451	平日の日中に限られていることが多く、一億総活躍社会の現代では参加しにくいことが多い。
452	募集案内チラシを見つけた時には締め切り間近だったりします。公共機関以外にも募集案内を提供していただきたいと思います。
453	放送大学の利用促進。年齢や収入等による割引制度と学費補助制度等の導入をしてほしい。
454	防災対策の充実。(特にペットの同行避難に対するもの)
455	本来、生涯学習活動に行政は関与すべきではないように思います。しかし多様な環境の現代においては、行政の関与は必要なのかもしれない。

456	民間で行っている生涯学習については調べて伺っているのですが、県全体で生涯学習について取り組んでいることを全く知りませんでした。生涯学習というと仕事を定年退職して、それから趣味で何か始めようかなという人が行っているイメージでした。積極的に県や市から動かないと県主催の生涯学習についてそもそも知らない、という子が増えてしまうと思います。例えば学校の総合的学習の時間の中で取り扱えるような題材なら、学校を通して授業の中に取り込んで貰えないか交渉するべきです。企業に関してもその企業の資格に関する事であるならば積極的に生涯学習の時間を支援すれば認知度も上がると思います。何事もまずは認知して頂かないと始まらないと思います。
457	無形の文化に対する評価。
458	無料から有償ボランティア活動に移行。学びに対して出来るだけ無料とする事。
459	やはり、奇をてらう事なく、地道な支援の積み重ねが肝要かと考えます。
460	役割分担と仕組みを具体的にすることで、効率的な体制を整えるといいと思います。①企画や活動は各施設や団体が行い、②県や市は企画や活動についての情報の整理と提供をする。
461	有償ボランティアを充実させて、民間人の力をもっと広く活用できる仕組みを作ったら良いと考える。
462	予算、経費の節約が先行し過ぎている。